

# 会員活動報告

## 楽しく・前向きに

〒730-0013

広島市中区八丁堀 13-15

八丁堀ビル

TEL/FAX 082-222-2246

発行責任者 理事長 神垣和美

● NPO 法人中国 SLA 協会 ●

### ♪電話相談に参加して♪

中国新聞のシニアライフアドバイザー募集広告を見て、これぞと申込をして5年が経過します。シニアの悩み110番は、全国的な行事となり、NHK・新聞等で実施日・連絡先電話番号が事前にPRされています。相談は中国地区全般の方々よりありました。

今年、私が受けた相談はシニアの生活苦(金銭問題)ばかりの3件でした。親戚・友人・隣人の誰にも相談できない悩みをおそろおそろ話されます。相談する側、受ける側、人生こもごもです。悩みを聞きながら、もし自分がその悩みをかかえていたらどうかと相談者の側になり、とことん話ししました。

これほど真剣な学習はないと日ごろから考えていて、自分ができる範囲で、SLAのメインである電話相談行事には参加するつもりです。

(5期生 新家昇三)



### ♪今年も達人たちの夢に

### 参加して♪

楽しく描いてくれたK君の絵は、ピカチューではなく、うさぎさんだっけ。何度も挑戦やり直し、三枚描いてくれました。お母さんの陰にかくれて恥ずかしそうにしていた黄色い服のお嬢ちゃんを私の膝に抱き上げ、手をとって、一緒にゆっくり筆を運び、これもぴんと耳を立てた、うさぎちゃんだったなあ。

例年の出品で、「ご来場者にも飽きられてませんかね」とお断りしていましたが、「会場の壁面がさみしいから。」とF副理事長さんのたつての願いで、ようやく腰を上げたのですが、終わってみれば、出会い、ふれあい、笑顔に恵まれ、感謝の思いです。

「壁面飾り」は、小早川さんの可愛い木目込み人形。また、エコクラフト細工を柏原さんとお二人の協力を得ました。体験コーナーでは、ご自身も日本画(墨絵)を他会場にご出展の幸先さん、最近アクリル画

を始められた新家さん、お二人の力強いサポート、本当にありがとうございました。



最終日の武井さんグループの茶席、おどろきの集客力ですね。多くの方々のお運び大変だったことでしょう。

お預かり展示して頂いたK君の葉書絵は、最終日にお見えのお祖母ちゃんに、お持ち帰りいただきました。たくさんの方々の笑顔出合いを頂きました。心より感謝があります。ありがとうございました。

(5期生 森 吾六)

●「シニアの悩み110番」

●電話相談報告●

電話相談も、SLAの大切な行事としてすっかり根付いています。先輩や多くの仲間からバトンを受け継いで、次へ繋げるため。今回も皆さんやりくりをしながら、多義にわたる相談をお互い助けあいながら担当していただきました。今回は、「生活が苦しい——と」年金生活者の思いがひしひしと伝わってくるなど、身につまされる相談が印象に残っています。(担当理事 武井美智子)

\*\*\*\*\*

私の受けた相談は、いずれも60歳前後の女性からのものでした。内容は、核家族の孤立状態の叫びとも聞こえるすぐそこに迫っている老いの暮らしの生活の不安です。年金も資産も少なく、近所に相談相手もなく「私が一人になった時に、高齢者の入れる賃貸住宅や介護される身になった場合に入れる施設はあるのか。」といったものでした。そこには長引く不況からの現状の生活の苦しさも伺えます。SLAとして新たな情報(例えば行政のサポート)を得るための勉強会などの必要性を感じました。

(5期生 福井昌子)

9/25・26 集計結果報告\* (内は全国)

相談内容	件数
経 済	12 (44)
家族・夫婦	8 (50)
生 活	3 (22)
住 居	2 (18)
遺言・相続	2 (19)
年金・保険	1 (15)
終 末 期	1 (16)
介護・福祉	1 (16)
仕 事	1 ( 6)
人間関係	1 ( 6)
健康・医療	0 (35)
成年後見	0 ( 6)
そ の 他	3 (16)
合 計	35 (269)

全国8カ所にて開設しました電話相談「シニアの悩み110番」は、当協会で35件、全国で269件の相談を受けました。特筆すべき事項は次の三点です。

- ① 不況の嵐は社会全般に悪い影響を与えており、経済だけでなく、家族関係までも悪化させています。② 件数では上位には入りませんが「終末期」、特に死後についての相談が今回は目を引きました。死後の後始末を始め、お墓、遺言・相続等々。シニアの心配は死後まで及んでいます。
- ③ 悪徳商法や詐欺の犠牲にならないためにもペイオフ制度等必要な知識を習得し、「情報難民」にならない対策が必要です。(副理事長 藤咲俊昭)

電話が鳴らなければ……と矛盾した気持ちで待機していました。いざ電話を受けて相手の気持ちになり、真剣に対応していました。数分間話しているうちに、相手も親近感が湧くのか、悩みなのに笑い声まで出て、何とかよい方向に話が向かったのかな……と安堵しました。一本の電話でしたが、自身の老後の勉強を少しさせてもらいました。(4期生 峯本タエ子)

◆ジェロントロジー研究(G研)同好会◆

平成10年に、米国カルフォルニア大学での夏期講習会参加者の報告会をきっかけに、ジェロントロジーを学び続けようというところでスタートしたのが、月例のジェロントロジー研究同好会です。『プロダクティブ・エイジング』という書籍の輪読から始まり、その時々話題、関心事、あるいは啓蒙的なことをとりあげてきました。

現在、話題は、参加者皆なで決めていきます。学問的なことをとりあげたり、新聞記事を話題にしたり、あるいは身近な体験を取り上げ、お互いの知見をシェアしています。最近では、孤老死、子による親の年金詐欺、幼児虐待あるいは、それらに関連しての地域でのきずなの構築、といったことを話題にしています。「私たちにできることは？」ということを中心に考えるようにしています。

◎11月例会 11月13日(土)

13時30分～16時(毎月第2土曜日)

場所…協会事務所

はじめての方も、気軽にご参加下さい。

問い合わせTEL&fax 082-273-0580(青山祐三朗)

\*\*\*\*\*



ヒラヒラと赤青黄舞う冬支度 短い

秋…皆さまに会報をお届けします。

(事務局 幸田洋子)